

製造業の景況感が弱含む一方で、 サービス業の景況感は底堅く推移



米国経済

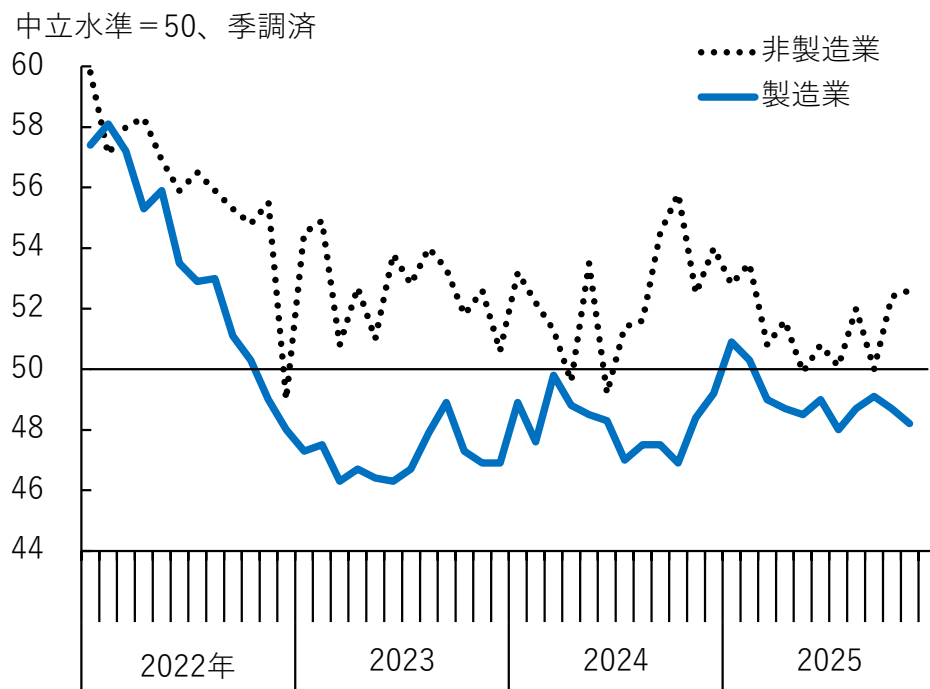
- 製造業の景況感は弱い動きが続いている。25年11月のISM（米供給管理協会）製造業景況指数は48.2と前月（48.7）から低下し、節目の50を9か月連続で下回った。一方、サービス業の景況感は底堅く推移。11月のISM非製造業景況指数は52.6と前月（52.4）から小幅に上昇した。
- 労働市場は弱含みで推移。米民間雇用サービス会社ADPが発表した11月の全米雇用リポートによると、民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少した。
- 11月下旬にFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次いだこともあり、金融市場では12月のFOMCでの0.25%利下げをほぼ織り込んでいる。

11月のISM製造業景況指数 は9か月連続で節目の50割れ



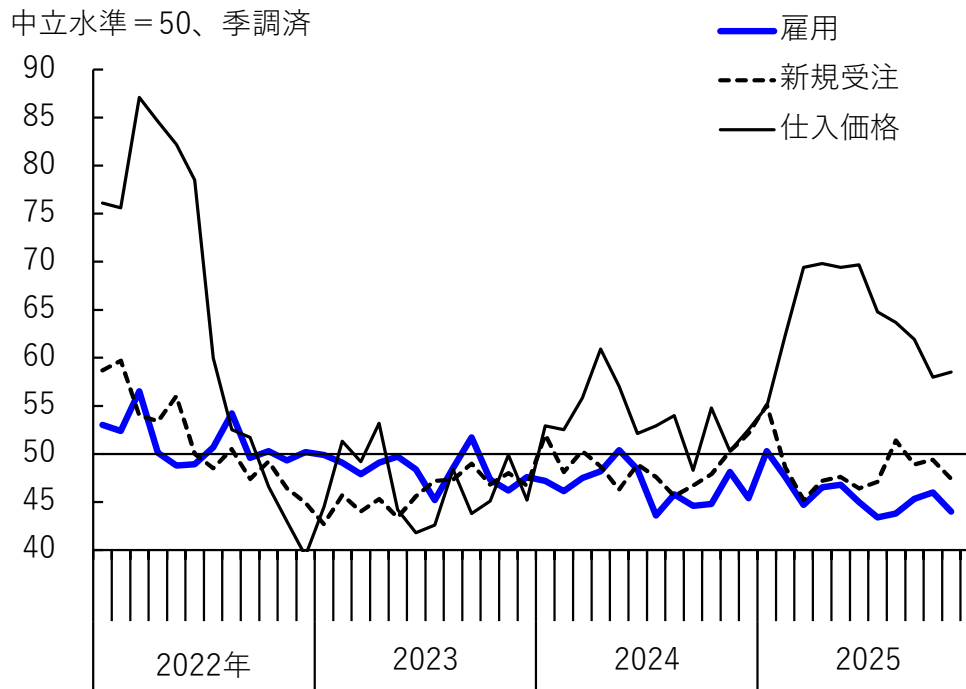
- 製造業の景況感は弱い動きが続いている。25年11月のISM（米供給管理協会）製造業景況指数は48.2と前月（48.7）から低下し、好不調の分かれ目となる50を9か月連続で下回った。
 ー 個別の指数をみると、仕入価格が58.5と前月（58.0）から小幅に上昇した。一方、雇用は44.0（前月は46.0）と再び低下。新規受注も47.4（前月は49.4）と再び低下した。
- サービス業の景況感は底堅く推移。11月のISM非製造業景況指数は52.6（前月は52.4）と小幅に上昇した。
 ー 個別の指数をみると、仕入価格が65.4と前月（70.0）から低下し、インフレ圧力が和らいでいることを示唆した。一方、雇用は48.9と前月（48.2）から上昇したものの、依然として節目の50を下回った。

ISM景況指数



出所：ISM

ISM製造業景況指数の内訳（主なもの）



出所：ISM

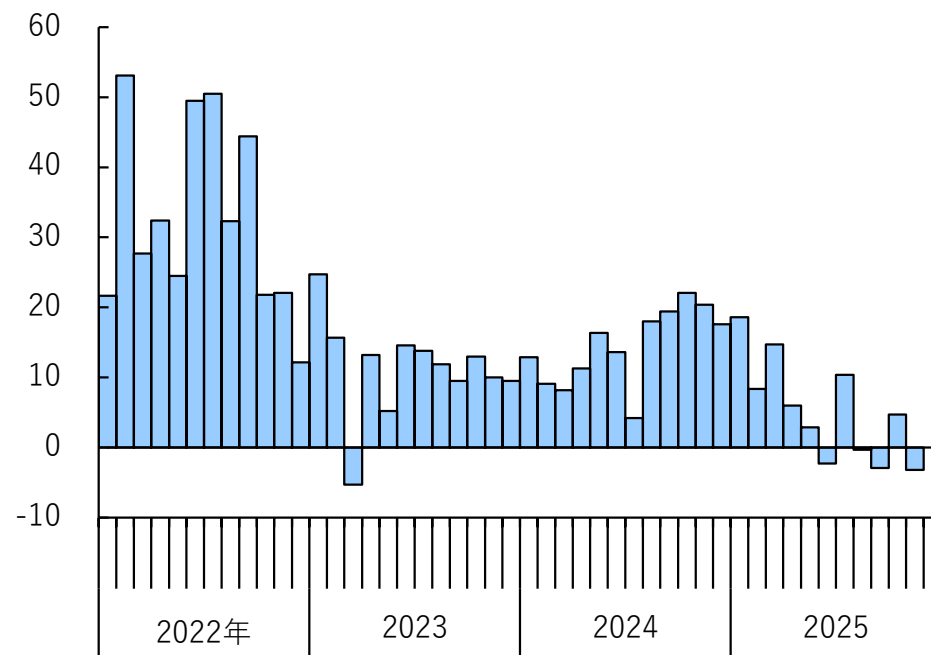
11月のADP民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少



- 労働市場は弱含みで推移。米民間雇用サービス会社ADPが発表した25年11月の全米雇用レポートによると、民間雇用者数は前月比3.2万人減と再び減少した。
- 一方、米民間再就職支援会社チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマスによれば、11月に発表された人員削減数は前年比+23.5%の7万1,321人となった。11月としては2022年以来の高水準。

ADP民間雇用者数

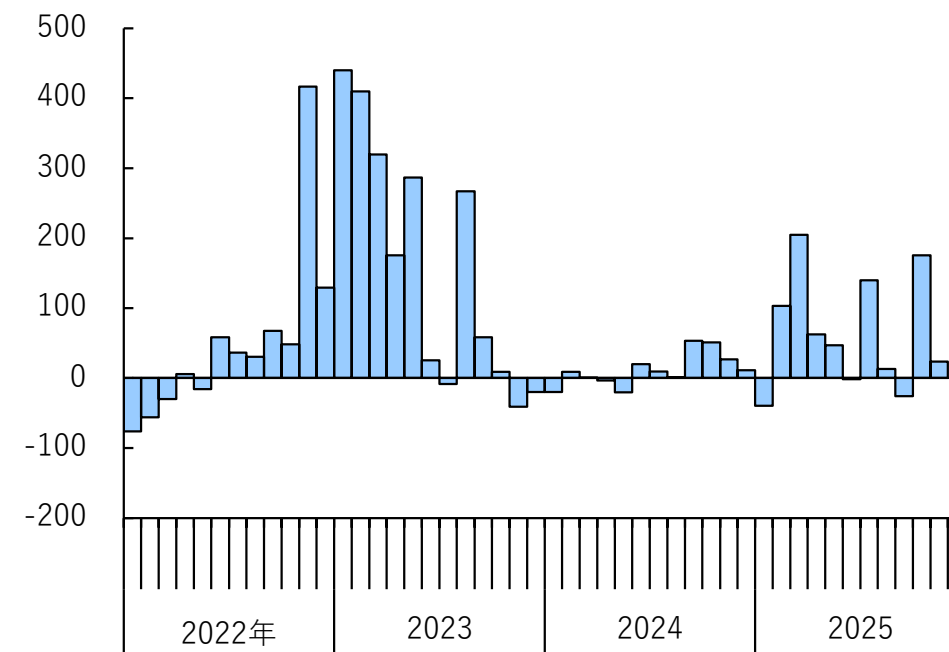
前月差、万人、季調済



出所：ADP全米雇用レポート

人員削減数

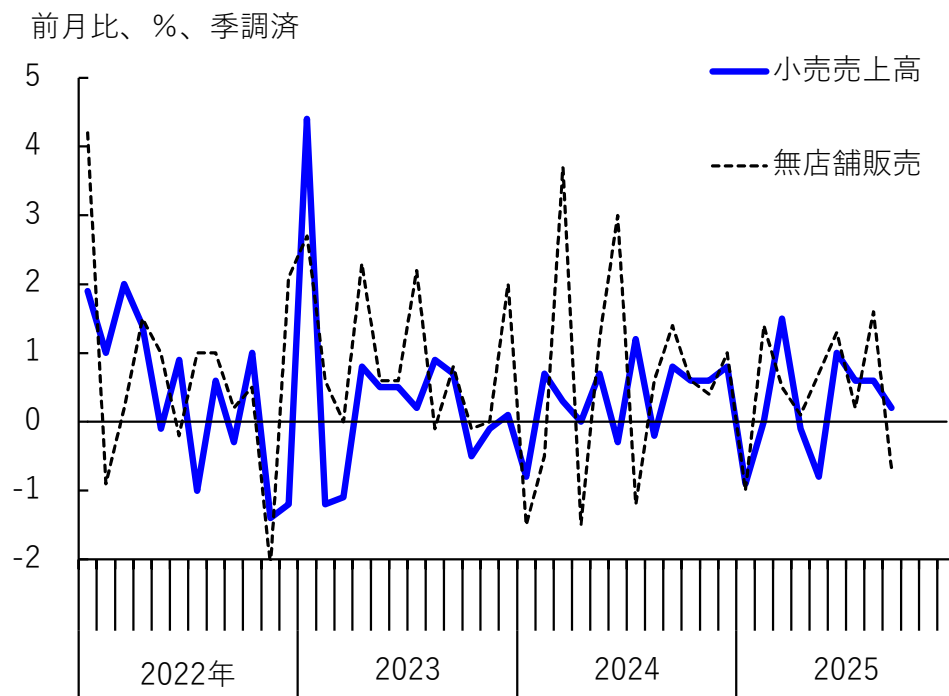
前年比、%



出所：チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス

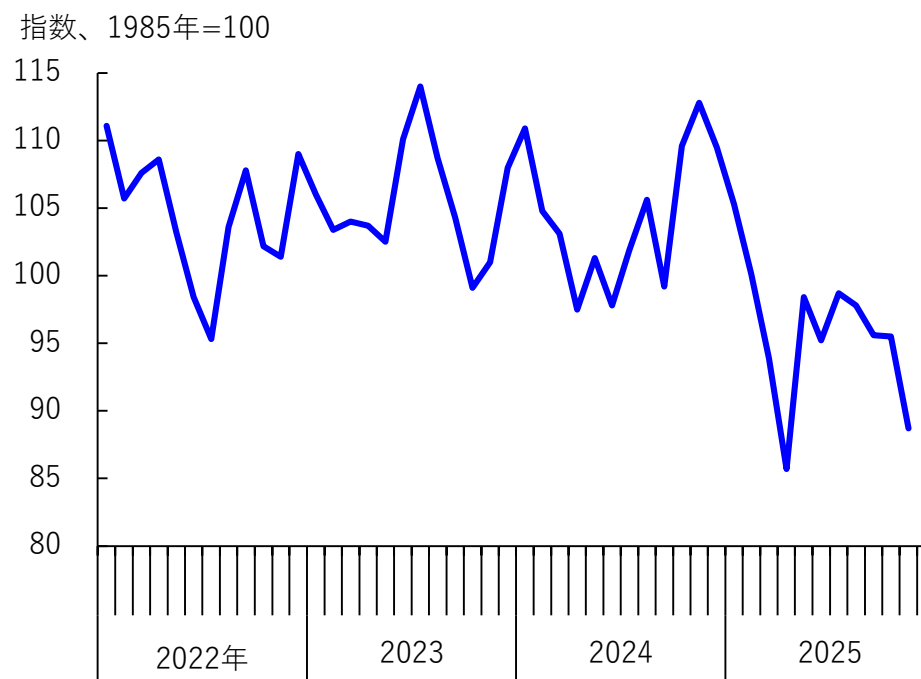
- 25年9月の小売売上高は前月比+0.2%と、前月（同+0.6%）に比べて伸びが鈍化した。
 - ー業種別にみると、ガソリンスタンドはガソリン価格の上昇もあり、前月比+2.0%と増加した。またフードサービスは同+0.7%と4か月連続で増加。一方、自動車・同部品は同-0.3%と4か月ぶりに減少した。
- 消費者のマインドには慎重さがうかがえる。11月の消費者信頼感指数は88.7（前月は95.5）と4か月連続で低下し、4月以来の低水準となった。内訳をみると、現況指数が低下に転じるとともに、今後6か月の見通しを示す期待指数も4か月連続で低下した。

小売売上高



出所：米商務省

消費者信頼感指数



出所：コンファレンスボード

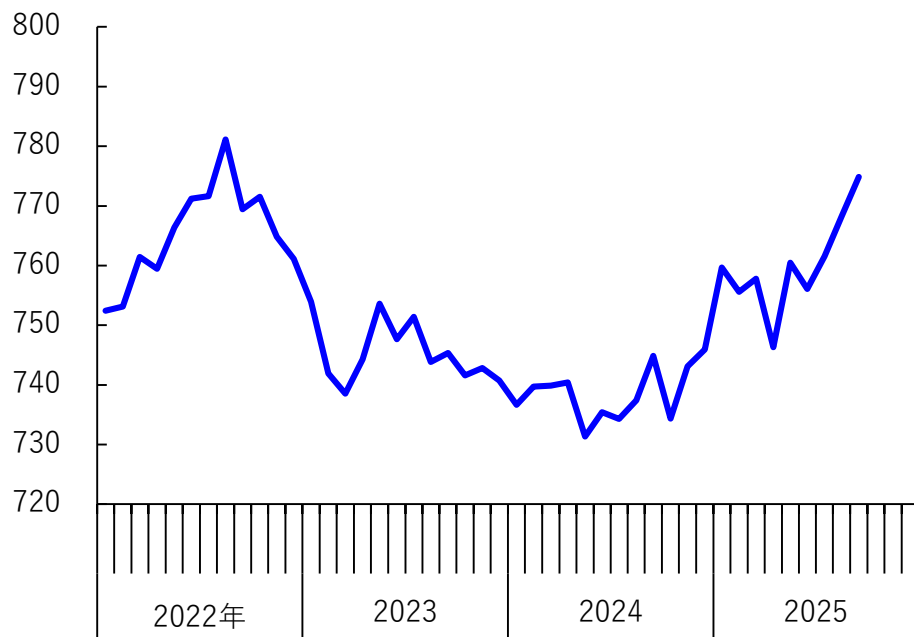
9月のコア資本財受注は3か月連続で増加



- 設備投資の先行指標となるコア資本財受注（航空機を除く非国防）は25年9月に前月比+0.9%と3か月連続で増加した。
- 企業の生産活動は一進一退。9月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%と小幅に上昇した。
 ー 業種別には、製造業の生産指数が前月比+0.0%と横ばい。電力などの公益事業の生産指数は同+1.1%（8月は同-3.0%）と上昇に転じた。

コア資本財受注（航空機を除く非国防）

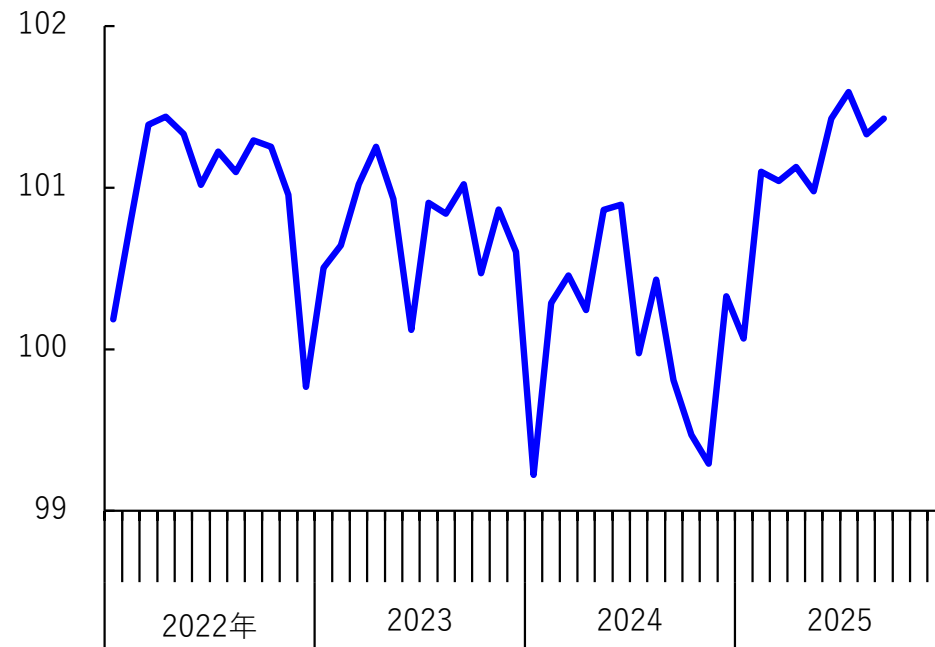
億ドル、季調済



出所：米商務省

鉱工業生産指数

2017年=100、季調済



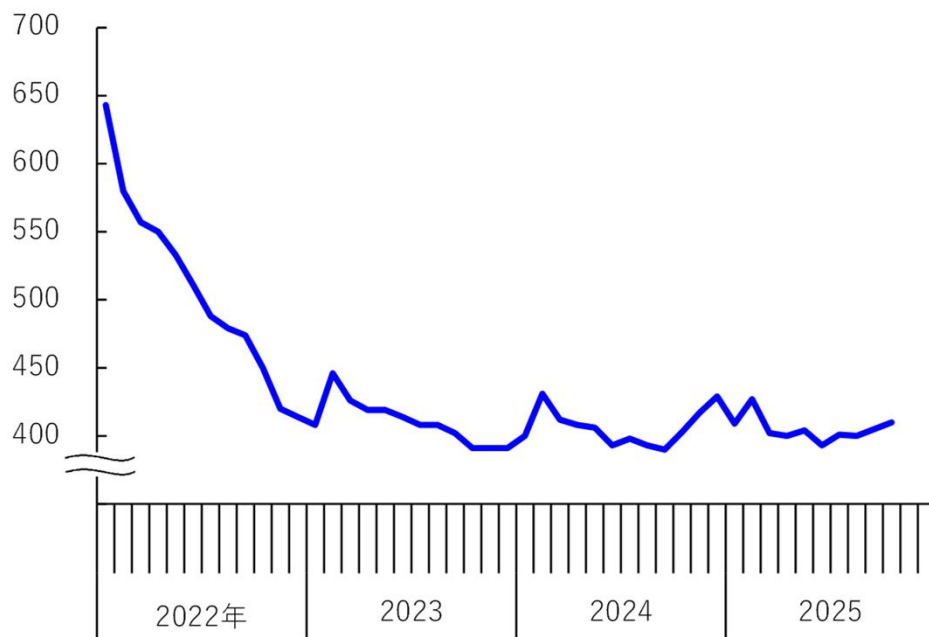
出所：F R B



- 25年10月の中古住宅販売件数（年率換算）は410万戸（前月比+1.2%）と2か月連続で増加し、2月以来の高さとなった。住宅ローン金利の低下が住宅需要の押し上げにつながったとみられる。
 - －地域別には、西部（前月比-1.3%）で減少したものの、中西部（同+5.3%）と南部（同+0.5%）で増加した。北東部（同+0.0%）は前月から横ばい。
- 一方、10月の中古住宅の販売価格（中央値）は前年比2.1%上昇し、41.52万ドルとなった。

中古住宅販売件数

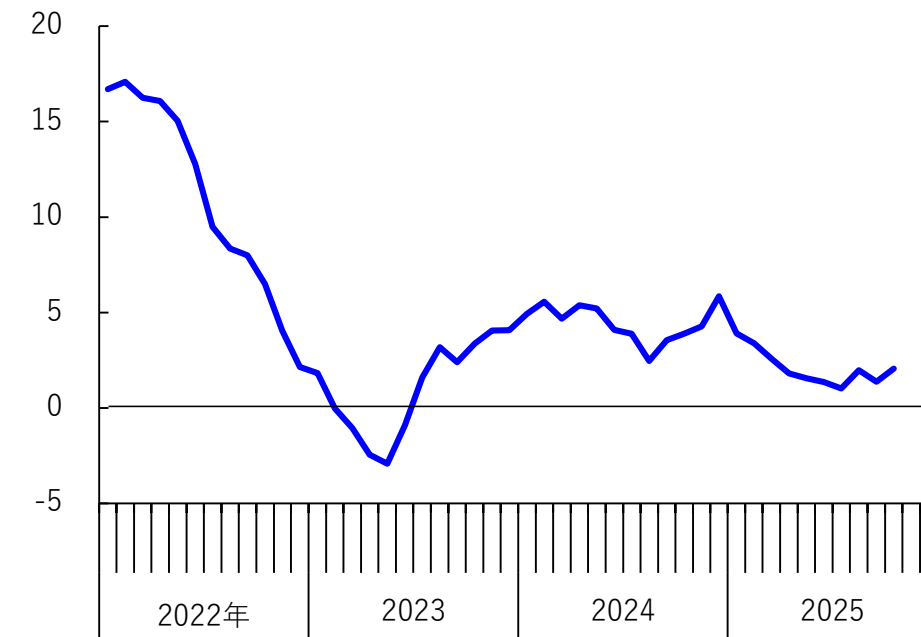
万戸、年率換算、季調済



出所：全米リアルター協会（NAR）

中古住宅販売価格

前年比、%

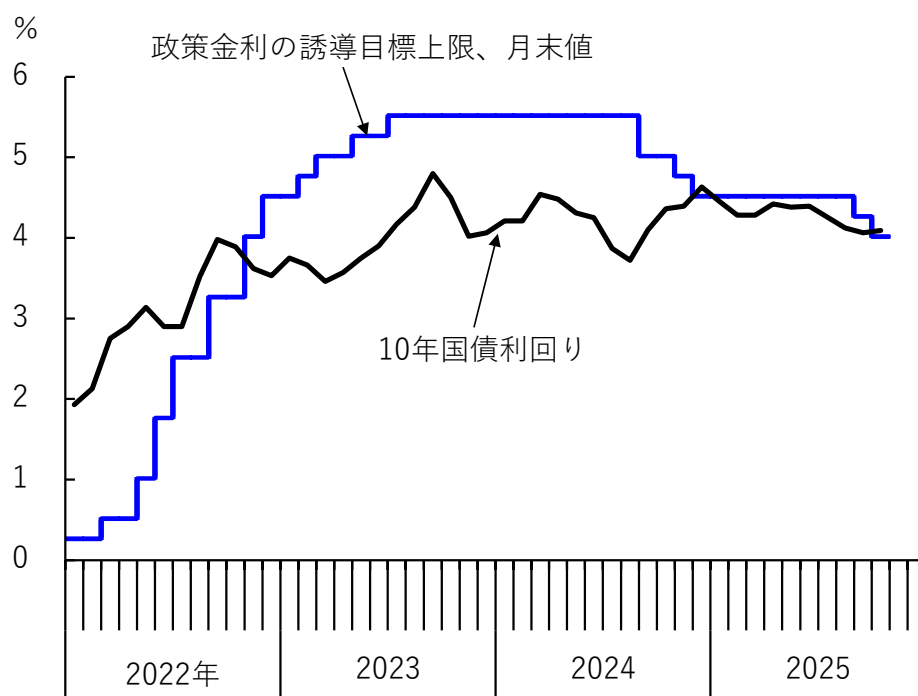


出所：全米リアルター協会（NAR）



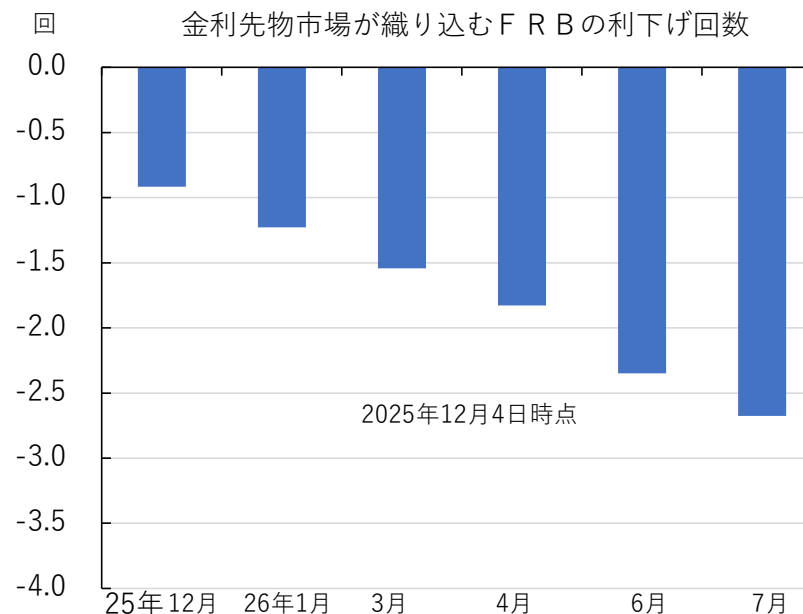
- 25年11月の米10年国債利回り（月平均）は4.09%と10月（4.06%）に比べて若干上昇した。
 - 中旬にはFRB（米連邦準備理事会）高官から政策金利の据え置きを示唆する発言が相次いだことから、10年国債利回りが4.15%程度まで上昇した。しかし下旬になるとFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次ぎ、10年国債利回りは一時4%を下回る場面もあった。
- 11月下旬にFRB高官から追加利下げを支持する発言が相次いだこともあり、政策金利であるFF金利の先物市場では、12月9日～10日のFOMC（米公開市場委員会）で0.25%の利下げが実施される可能性をほぼ織り込んでいる。

政策金利の誘導目標と長期金利



出所：FRB

フェデラル・ファンド（FF）金利の予想



注: 1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。（会合開催月）
 なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



浜銀総合研究所



調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5